安心感が脳裏をよぎると、

の乗客はほっとする。

元の駅に戻ってくる・・・、その

治十七年に着工された。

民営の「甲武鉄道」の「中央線

目を癒し、ぐるりと廻ればまた

ジュー

ルで運行される山手線は、

全体の鉄道幹線網の筆頭である

東海道線は、国が計画した日

本

野に向かい、途中に中央停車場

東京駅」)を設けることになった。

る) の西側の

「烏森」を迂回して上

央線の「東京」

が

この「の」の字

をつなげて環状 いとを繋ぐ・・・

の運転を開始す

るためには、東京

上野間を連

結

しなくてはなら

世紀余りもの年月が流れていた。 明治五年なので、このときまで半

今や山手線の各駅は・・・

大正八年三月、 「万世橋」 「神田」「御

上野駅と東京駅

通、「東京」駅から

膨らむのでは

・・・」と思われる

くらい・・・、そして過密なスケ

シュでは、「車体が乗客によって

山手線は二分間隔で走る・・・

道線」の起点であった新橋~品川

と繋ぐことは、

間を、このときすでに上野から高

0

崎まで開通していた「東北線」と

通勤客で混み合う朝夕のラッ

都心の大量輸送に貢献しつつ今

が、

日も走る。

明るいグリー

ン

の車両は乗客

もの、そこで「品川線」(品川~

相互の合意によって明

はじめた民営の「日本鉄道」の 東北線は、国との協調で活

本鉄道品川線

は

実は

東

全体の鉄道網の拠点として上野駅

点として設けられた新橋を、日

本

0)

西側に鉄道を走らせるという、

まだ農地が広がっていた。東

か

つて京浜間を結ぶ鉄道

0

ても、

丘

| 陵地帯

0)

Щ

の手」には

中央停車場の建設案が浮上

た下町に対して、

明治時代になっ

難なことだった。

線路を敷くことはあ

まり

江戸時代に町並みがつくられ

鉄

道

品新 111

座などの商業地域

が

在してい

たの にも困

で、

心に向かい、また夕べは帰宅する乗客を運びつつ、放射状に拡 結んで山手線は屈指の乗車率を誇る。山手線各駅近傍の空場に 明治初年に新橋から走り始めた鉄路建設の歴史を繙く

されていたこの経路

は下町を縦貫し、

銀

SHIMIN PRESS

1月5日

発行人

特定非営利活動法人 「市民フォーラム」

編集人 原 昭二 制作 デジタル工房

E-mail TEL

hara@camelianet.com 090 (3048) 5502 〒353-0004 埼玉県志木市本町 2-4-43

市民の目線で市民が発信する地域情報紙

WEB SHIMIN http://shimin.camelianet.com

CONTENTS

-PAGE 1

PAGE 4

な駅舎はついに完成した。

鉄道の発祥地としての「新橋」

され、再開され

たのは翌年七月の

ことであった。

よる被害で、「の」の字運転は中止

山手線は廻る

-PAGE 2 · PAGE 3

東上鉄道開業記念運賃半額割引チラシ

歴史を繙く:聖護院門跡が廻った中世の道 『廻国雑記』

Global Mind:ブータン紀行 深瀬 克

NPO 市民フォーラム編集

六年半の歳月を経て大正三年 明治四十一年基礎工事が始めら

> 谷、品川、東京を かう。内回りは逆

入り、中野まで、

いわゆる「の」の 通って中央線に に池袋、新宿、渋 つ上野駅へと向

14)12月、軍艦のような巨大

字運転という運行が開始された。

かし大正十二年、関東大震災に

大正 14 年に環状運転を開始した時の山手線

Creative Book 新書判

中央駅は辰野金吾の設計に決ま

駅としてつくられたものであった。

て、品川、目黒、渋

端を通過しつ

品川間の運行が開始されたのは のである。思い起こせば、新橋~ の環状運転はついに開始された て間もなく、十一月一日、山手線

に入り、外回り線

をぐるりと回っ 谷、新宿、池袋、

ての東京駅が完工するまでの仮

されたが、「呉服橋駅」は中央駅と

は、

宿

水を経て山手線

月には有楽町~呉服橋

へと延伸

れ

中野を出 お茶の

た中央線の電車

神田駅、秋葉原駅が出来上がっ

『山手線は廻る-環状鉄路の誕生』PAGE 1 『隅田川を遡る - 橋梁物語』

「新橋」と改称され、「呉服橋」仮 駅は「汐留」に、また「烏森」駅は

駅(当時の駅はのちの「汐留駅」とな 悲願でもあった。そのため 当時の鉄道関係者 新橋

(写真の右側、現在は工事のため撤去されている)井上勝の銅像井上勝の銅像東京駅「丸の内駅舎」前に立つ

なり、中央線の中野駅から、新 宿」 に向かうことができるように 茶の水」「四ッ谷」を通過して「新 駅は廃止された。

四

ツ

〜 池袋

各地との物産

取引きをしてい

北線、中央線、総武線、埼京線など

JR東海道線、横須賀線、京浜東

路線図②

路線図③

宿

ぬ

当時東京市区

内で商業活動が

もっとも盛んな日本橋の問屋は、

汽車も走っていた。このころ、 烏森~品川~新宿~池袋~田端~ て田町駅・浜松町駅が開業した。 鉄道が国有化されたので、高架工 えられた苦肉の策は、 の危機に見舞われた。同三十九年 したが、予算不足のため工事中 しばしば電化される前の旅客用 で、はじめて電車が走り始めたが しみじみと心に沁みるものだった 野というル 道」の建設である。 「新橋駅」となる) が誕生、つづい が再開され、 商業地域に鉄路を敷くために考 いよいよ高架線の工事に着手 四十二年に烏森駅(の そして三年、よう トが完成したの 明治三十三 「市街高架 断

翌年六月 には烏森 有楽町

路が完成した (路線図②)。 「の」の字運行

品川~

の西側が開通した。民営の

した (路線図①)。

方

路線図①

どうだったの

か。

明治初期

から計

新橋駅と上野駅を直結す

る東側部分の建設

品川を経由して

のとき山手線の西側部分が完成

本数物

鉄道を開業、それから十数年後に

で、

品川線・豊島線を合わせ、こ

(1872) にはじまった・・・

手線の建設は明治五

年

池

袋から田端へ日本鉄道 新宿に乗り入れ(明治二十二年)

豊島

明治新政

府は新橋~横浜間

端間の直通運転が始まったの

(明治三十六年)、品川~

央線と山手線は相 互に

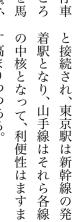
ねてから鉄道敷設の先頭に立っ て鉄道庁長官を いた。またこの区 悲願でもあった。

一野駅を電車が往復運行する鉄 乗 車の輸送では捌ききれないので、 たので、荷物を新橋、上野両停車 新 場に分けて運搬 させることは焦眉の急となって 続し、交通・貨物 が東北地方に輸 橋・上野停車場間の線路を接 送する貨物を馬 していた。ところ 輸送の便を増大

で高架線の工 くされたので、「神田~秋葉原~ しかし大正十二 九月になった 野」間が完工 事 たのは大正十四 は中止を余儀な 年、関東大震災

と接続され、東京駅は新幹線の発

す高まりつつある。 の中核となって、利便性はますま 地下鉄と接続されて都心の核



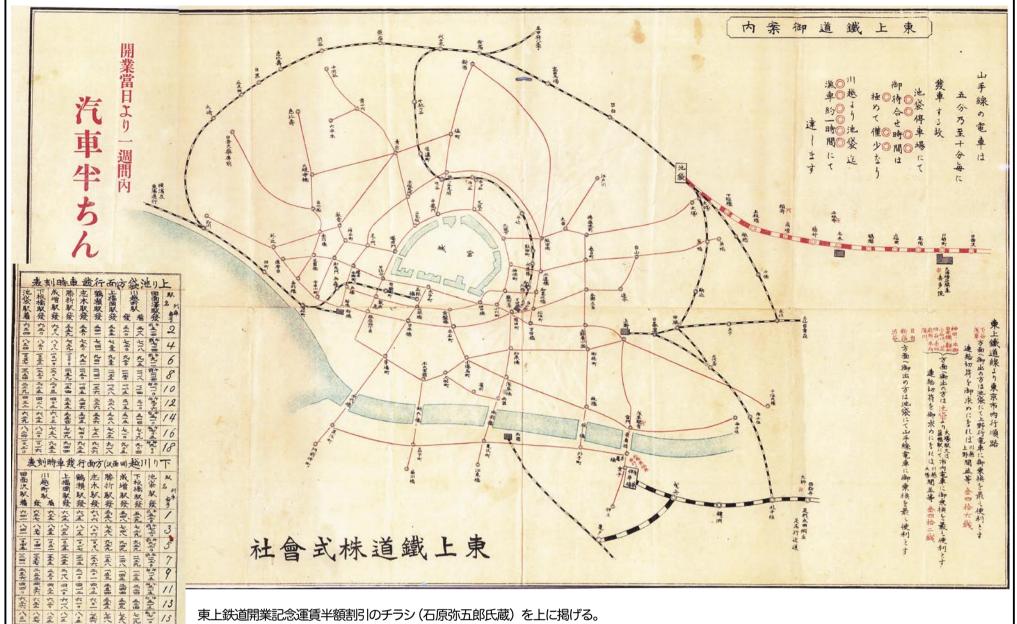
となった山手線・・・

務めた井上勝の 1間の連結は、か となった。またかつての貨物線 拡大された私鉄とも直結したの 地下鉄と、また郊外へと放射状に 合する場面ともなり、広域の交通 ンとして変身しつつ、山手線と競 は、高速の埼京線、湘南新宿ライ て欠かすことができなくなった で、通勤路線として最重要な路線 はますます高速化に向かう。 加えて、戦後都心の交通網とし



最大のターミナル駅だった「上野駅」 昭和7年に落成した駅舎は現在も使用されている

大正三年五月一日、東武鉄道(株)「東武東上線」が開業した。



東上鉄道開業記念運賃半額割引のチラシ(石原弥五郎氏蔵)を上に掲げる。

新座郡を周遊

·志木~鶴瀬~川越町~田面沢(現・川越市) まで完成して開通したときのもの。 このとき山手線の西側は完成していたが、 下町を通 過する東側の高架線は工事中で、中央駅(現・東京駅) 新宿から延伸された中央線はまだ東京駅に到達せず、山手環状線と京浜線の姿が現われる以前のこと、市内の路 東上線開通のとき配布されたこのチラシは、 東京市内の交通が激動する直前の様子を示す、

> る。いくつかを見ていこう。 ての新座郡を訪ね、歌をよんでい 新座・和光・志木各市を含むかつ

岡に入って、 むねおかといへる所を通り侍り 文明十八年の秋、志木市域の宗

の方が歴史が古いことになる。

をつくって楽しんだのであろう。

旅に出て半年が過ぎ、道興准后

けるに、夕の煙を見て、

夕けぶりあらそう暮を見せてけ

りわが家々の宗岡の宿

申し侍りければ、 びどめと名づけ侍るよし、国の人 しによりて、烽火忽ちやけとまり う塚あり。けふはなやきそと詠ぜ けるとなむ。それより此の塚をの 此のあたりに野びどめつかとい

想定しては間違いだろう。しか

集落ができていたことは確か

上宗岡の千光寺近くに

女を草むらに隠れ

て逃げた。追っ

が人の娘を盗んで武蔵野にはいり、

歌だ。脚気といい、浜崎といい、 立つ浜などなかったという意味の

言葉あそびの歌にすぎないとも言

る様子をうたったものだが、江

時代のようなにぎやかな宿場を

がてもかるゝ野火

わか草の妻も籠らぬ冬されにや

『伊勢物語』に

よると、ある男

あちこちから争うように立ちのぼ

と詠んだ。夕食をつくる煙が、

ŋ は武蔵国で正月を過ごした。 という名の地に向かったが、波が 里とはきけど立つ波もなし 武蔵野の草を分けながら、浜崎 武蔵野をわけつゝゆけば浜崎の 武蔵野の末に浜崎といへる里侍 かしこにまかりて、

軍記もの、宮廷の記録などは伝承 はきわめて高い。 れが読み、また語るもの、例えば に基づく資料だが、それらとは全 相違した貴重な記録である。 歴史を繙くために、いまわれわ う伝承がある。また、野寺の鐘に 生々しく蘇らせ、そのリアリティー とを詠んでいるので、当時の風景を

幡太郎義家が戦勝を祈願したとい 安倍氏を討つため奥州に向かう八

に脚気を売りにぞありける

商人はいかで立つらむ膝折の市

いては後述)を拠点として、朝霞・ 道興は武州十玉坊(所在地につ 林寺はまだなかったので、野火止塚 うやって歩くのだろう」と戯れ歌 まれ、そのままに放置していたの 鐘は火事のさいに池の中に投げ込 で、すでになくな も残されている。 「平林寺」の境内にあるが、当時平 野火止塚は、現在新座市内の古刹 いては、在原業平や紀貫之の歌 っているようだ。 しかし、その昔、 気)という脚の病にかかって、ど

脚の病の「脚気」と、売り物の「脚 籠」をかけて、「膝を折るという を入れる脚つきの籠をさし、正し 籠を売っている商人は、かっけ(脚 くは「脚籠」と書く。道興准后は、 地名の市でかっけ(脚籠)という わかる。歌中にある「かっけ」と の宿場であったが、それ以前の室 は、竹で編んでつくった茶碗など 町時代から市がたっていたことが 膝折は、江戸時代には川越街道 てられている。

をあぶり出すため草原に火をつけ 手の役人たちは、野原にひそむ男

のことである・・・ およそ五〇〇年前(十五世紀末) は、 この歌碑が建

行文を著した。その書『廻国雑記』 には、各地の地名を読み込んだ和 武蔵国に入り、各地をめぐって紀 -八年(1486)に、 北陸路から 巡歴の高僧、道興准后は、文明 また、野寺とい 新座市域では、

らかで、そのとき目で見て感じたこ 新座、朝霞各市を廻ったことが明 歌や漢詩が収められているので、そ 当時の地名には、いまでも使われ 祀されて、現在は武野神社となっ 社は、明治末期に近在の神社と合 こたふる鐘もなき夕かな 掘り出さざりければ、 ている。ここには十一世紀の中頃、 片山の野寺の鐘で知られた八幡 音にきく野寺をとへば跡古りて に休みて、例の俳諧を詠じて、同

ているものがあるので、道興は志木、

の足跡を辿ることができる。

この鐘、古へ国の乱れにより、土 の底に埋みけるとなむ。そのまま といへる里に市侍り。暫くかりや

侍り。これも鐘の名所なりといふ。 へる所ここにも

これをすぎて、ひざおり(膝折)

道興はこの伝承をうけ、愛する女 の塚を野火止塚と名づけたという。 がこもることもないもの寂しい冬 し始めた火はとめられたので、こ の野火止塚をよんだのである。 すから、と。そこで、草原を燃や を今日は焼かないで下さい。草む た。女は役人にたのんだ。武蔵野 らには夫も私もこもっているので 現在の朝霞市の膝折と浜崎を訪

荒川

般的だったようだ。 『廻国雑記』には、新座郡の現・

えるが、当時、こうした歌風は一

のころ、日本でも歴史区分として「中

山および新熊野の検校をも兼ねた。

大名の家督争いとも複雑に連動し

て十一年も繰り広げられ、

京都を

また幸いにも、のちに塙保己一

んだものである。このあたり一帯 は記されていない歌で、広沢をよ のうちの一首は、『廻国雑記』に 庵」に在ったが、現在は大通りの 向い側に移動している。文化六年 名主であった鈴木家が天明年間 (1809) に造立したもので、そ (1780~) に建てた「うけら 歌五首を刻んだ石碑が残っている。 どのところに、道興准后がよんだ和 光市駅南口から四○○メートルほ この石碑は、新座郡新倉村の 氏は述べている(本紙16号)。

も和光市や朝霞市に残っている。 京都から旅立った道興は・・・

はかつて広沢の庄と呼ばれ、現在

すでに述べたように、大塚の「十 玉坊」で長旅の旅装を解き、越年 であるが、武蔵国には四回にわ たって出入りを繰り返している。 そこから南下して関東に入ったの して、この間に武蔵野の名所・旧 北陸道を通って越後国に至り、

月よしの館

入間扣

関(現・多摩市)を経て、多摩川 兼の井」から「やせの里」、「入間川」 を渡り、恋ケ窪(現・国分寺市西恋 の常楽寺を訪れている。 利用しているようだ。狭山市「堀 を往復、また「河越」(現・川越市) 柳瀬川に沿って、宗岡(志木市宗岡) に立寄り、「佐西の観音寺」 に着く。 ケ窪)あたりは鎌倉街道の上道を すように、相模から武蔵国の霞の 通った路を推定すると、図に示 し、やがて聖護院門跡となった。 摂関家に生誕した。 名で、門跡とは、 の寺というところから付けられた が入る特定の寺、またその寺の統

聖体(天皇)護持

幼いころ出家

い。室町幕府の八代将軍足利義政

お抱えの護持僧も務めていた。足利

を刊行し、その序の中で、この書

1832)が『廻国雑記標註』

の内容に直結する古文書が『白川

皇族や上級貴族

の固いきずなも持っていたのである。

とや、甲斐国妙法寺の記録の中に 古事考』所載のものと一致するこ

の条に聖

をつくった将軍である。武家政権と る銀閣(国宝。世界遺産にも登録) 義政といえば、東山文化を代表す

ぐって、その弟義視と実子義尚

護院が甲州・武州より奥州に下っ

たと記されていることを挙げて、

八代将軍足利義政の跡目をめ

(146751477)

は、

有力な

この書の作者は道興であることを

の相続争いに端を発した応知

括者につけられた呼称である。こ

前の時代を指す。古くは西洋の時 代区分として使われてきたが、 古代より後、そして近世よりも 明治 園城寺(三井寺)の長吏、 派を統括する地位にあり、 のころ聖護院門跡は修験道の本山

和光市域を詠んだ歌はない。しか 年ころ)から安土桃山時代 的には、平氏政権の成立 世」が使われるようになった。一般 1 1 6 0 表者と考えてよい。 なっているが、長吏も検校も寺の代 寺院の職名は宗派などによって異

聖護院門跡は・・・

そうした一人だ・・・と安斎達雄 並はずれた貴族、「道興准后」は きわめて大きな存在の人がいる。 人たちには全く知られていない 歴史上の人物の中には、多くの 知っているひとにとっては、

は太政大臣となった近衛房嗣の次 ではなかった。彼は関白、のちに 男として、 この人 道興の勢威は、並のもの 永享二年 (1430)、 信任が厚かったが、それだけではな

「准后」となって・・ 皇后などの三后に準ずる待遇の をみたものの、時代は本格的な戦 武蔵国とて同様であった。

国乱世に向かいつつあり、

の三后に準ずる待遇を与えられた 准后となった。これ以後、道興は「道 准后とは太皇太后・皇太后・皇后 興准后」と書かれるようになる。 道興はさらに大僧正に任じられ、 年 だった。

わりはない。道興准后は天皇家の るが、大変な名誉であることには変 な恩典はほとんどなかったと思われ 人のことである。 戦乱が相ついだこの時代、 経済的

ある。そのとき年齢は五十七才 たのは、そうした最中の文明十八 道興准后が諸国巡歴の旅を始め (1486) 六月中旬のことで

不明であり、 『廻国雑記』は、長い間著者が

野天満宮に刊行を誓い、江戸幕府

(1779)、菅原道真を祀る北

国雑記』といわれ、 れ 匠だった宗祇が著したものとさ 江戸初期、この書は『宗祇廻 ていた。 連歌師の宗

焼け野原にした。乱は一応の終息 それは されたため、この書の存在が明ら が編纂した国文学・国史を主とす に生まれたが、幼くして失明した。 る一大叢書の『群書類従』に掲載 しかし学問の世界に果敢に挑戦 し、古書の散逸を危惧して安永八 かになったのである。 塙保己一は延享三年 (1746)

入手も困難だった や諸大名・寺社・公家などの協力

しかし から江戸時代初期までに完成した 史書や文学作品、 を編纂した。膨大な叢書で、古代 を得て、古書を収集、『群書類従』

文政八年 収め、寛政五年(1793)~文

計1273種を

献をしている。 れた。この書は史学・国文学等の (1819)、木版で刊行さ 計り知れない貢

道興は風流な旅をしたように受

けとられるが・・

るに、薯芋とい

NPO市民フォーラムが編集する CREATIVE BOOK 新書判

通し、詩文・和歌・連歌などにも となっていて、 身の旅の覚え、 長じていたことを読者に強く印象 『廻国雑記』の本文は、道興自 彼が風雅の道に精 歌などを記す日記

院日記』にもその旅が、聖護院門 跡の公的な旅であることが書かれ り、『御湯殿上日記』や『後法興 ているのである。 りき。おのおの御対面あり」とあ 年六月上旬の頃、北征東行のあら 公武に暇の事申入れ侍

志木市柏町に所在した「柏の城」) に招かれて・・・ 眺望が優れた大石氏の館(現・

春けふこの本に

とふを待つらむ

散りにしはみ

まかり したい。 を改めてその歴 大石氏と柏

史を繙くことに

そらく丹沢や奥 さらに遠く筑波 いる様子を見た 山河が幾つも 興に乗じて高 **閑乗興屢登楼** 遠近江山分幾炎

武野神社

りて、 限りあればけ 武蔵のの境も ふわけつくす

観音寺にてささえをとり出しけ 宗の道場侍る。 罷りけるに、福 ところ沢とい 泉といふ山伏、 へる所へ遊覧に

にて、夜に入り 館へ招引し侍り けるを見て、俳諧 へてほり求めたる野老沢かな 野遊のつでに、 大石氏の館に再び招かれて・・・ 野遊びのさか て、鞠など興行 なに山のいもそ 大石信濃守が

新書判 240ページ・フルカラー

定価 1260円(税込)

好評発売中 !

小経を花の枝に るに、聞き及び とて、さまざま の歌をすすめける 大石信濃守、 (中略) 侍りければ、 の追善を致しけ 父の三十三回忌 る に ければ、二十首 つけて贈り侍る 発行:(株) ヒューマン・クリエイティブ 電話: 042・620・2616 ネットでも購入できます。

そぢ三年の花の CREATIVE BOOK 12号

を添えて隅田川に架かる橋梁と両岸 の賑わいを訪ね、江戸時代からの歴 空撮写真のほか多彩なカラー写真「隅田川を遡る」橋梁物語



羽根倉道 せの里 新河岸川 柏の城 大石信濃守の館 観音寺 野火とめ つか 柳瀬川 鎌倉街道 上道 (推定) 多摩川

廻国雑記の道 (東村山ふるさと歴史館が編集発行 「鎌倉街道と中世のみち」を参考にして制作した)

(1825) に関岡野洲良 (1772 しかしその冒頭に、「文明十八

て遊び侍るに、庭前に高閣あり。 士の館にゆかり侍りて、 ある時大石信濃守といへる武

> るじ杯取り出し 眼の前に尽きぬ や。 で遊覧しけるに、 矢倉などを相 遠景勝れて て、暮過ぐるま とおもほゆ。あ ねて侍りけるに 数千里の江山

院といふ山伏の 見えたのではな 河越といへる **所に一両夜やど** 所に到り、最勝 や上州の山まで 多摩や奥秩父、 のであろう。お の国を区切って **倭に登り、遠近** いだろうか? 白沙翠竹斜陽幽

へる物肴にあり 楽寺といへる時 しるき河越の里

此の所に、常

平林寺境内にある野火止塚

アルタイムで見てしまった。

西ベンガル州、

西はシッキム州

た呼び方があるが、

との政策が、着実に行われている

然を壊さないようにしているブー

め国からの社会保

障制度は未

が楽になることよりも生きとし生

の心配が無い。医者も学校も

な政府のた

は、三月十一日 れた国王夫妻 て公式訪問さ ら、去る十一 タン王国か するブ 部に位 国賓とし 脈の

の東北大震災に心を痛め、 深甚な謝意を捧げたい。 一〇〇万ドルを寄付された。この

幸せなその国の人々に直接触れら れた深瀬さんの訪問記である。 つことニヶ月、ブータンを訪ね、 以下は、国王夫妻の訪日に先立



深瀬 克

4~5年前のことだった。

民総幸福」という言葉がわたしの National Happiness (GNH) 国 いるという。そのとき「Gross なテーマを国を挙げて追求して ず、国民の幸福を追求する国」と 「幸福」という抽象的かつ感覚的 してブータンが紹介されていた。 起さなければ、亡くなった多くの いかと思った。その価値観を転換 2。 ータンへ旅立ったのである。

震災によって、われわれは物も人 大津波が港や街や田畑や多くの人 そして昨年3月11日、東日本大 いて、南はインドのアッサム州・

マラヤ

象(インド)

ベット自治

は中国のチ

れ、電車も間引き運転された。 事故では目に見えない放射性物質 れわれが暮らす東京電力管内で によって、家や田畑や家畜や仕事 には名前が付いていないとのこと トル級の山々が連なる。現地ガイ 国土のほとんどは山岳地帯で、北 ので、5000メートル以下の山 ルの亜熱帯地域が若干あるが、 150メー

都ティンプーを結ぶ道路は2車線 鉄橋の連続となってしまうからで ある。唯一の空港があるパロと首 に建設しようとすればトンネルと だったが、それ以外は幹線道路と いえども1車線しかない。 鉄道はまったく無い。 幅 3 馬古道」を連想させる。日が差す 中国雲南省とチベットを結ぶ「茶 の中にいることが満喫できる。

ートルくらいで、一応簡易舗装

業・牧畜業で、近代工業は皆無に

を求めなかったそうだ。最近、

ぼ同じ北緯27度あたりに位置して 積でラグビーボールの形をして 県とも似ている。沖縄本島とほ いる。サツマイモの形をした埼玉 ブータンは九州とほぼ同じ面 穴も開いている。しかも山の中腹 はしてあるがメンテナンスが悪 トルと続かない。日本には「いろ を切り開いてつけた道なので、常 路肩から破損が進み、大きな 直線は10メー 近い。 出しながら走るボロボロの車を見 ている。環境破壊を未然に防ごう

あるが、この清流は急峻な山から せず、急峻な地形を利用して発電 本のように大自然を破壊するよう は水力発電で、インドにも輸出し 外貨を稼ぐ最大の産業

うに見える。峰々には雲がかかり、 湧き上がる雲の間から谷底を見 ために、ブータンの人々は大変働 している。自給自足の生活をする

政学的には

言う大国に

(中国) と

落ちてくるので、ほとんど滝であ

様いちいち名前をつけていないの

厳しい場所

である。人

はわずか

高温多雨のためかサルオガセが垂 通り「万丈の山、千仞の谷」が続き、

70万人で、

志木市の約

南に標高



モ畑が広がり、絶滅危惧種に指定 されているオグロヅルがチベット 話が出た時、オグロヅルにとって からヒマラヤ山脈を越えてやって 求めたところ、住人たちはオグロ 邪魔な電線を引くかどうか意見を て2世代・3世代 外部からの情報が 業で行っている。 修理は地域の人た に伝統文化はしっ 祭り・衣服・食事・住宅の中 ため、ブータン独自の宗教 年とのことであった。このように、 てきた。農作業や く。テレビ放送の 交換の社会であっ 就業人口の85 自給自足・物々 !が同居して 家も大きく ちが共同作 家屋の建築 遮断されていた かり守られ 開始は1999 1974年と聞 た。通貨が発行 が農業・林業・

日

タン人の行動に、

私は感動を覚え

整備であっても、

家族と地域によ

きたが、1974年に開国した。 うと、「最近まで活 と言える。長年鎖国政策を続けて 少し誇張して言 **江戸時代だった」**

> らの関心事については次号で述べ のか。いやそうではなかった。彼

ることにしよう。

は、先ずここにあると思った。で

がっており、老後の心配は無いの るセイフティー・ネットが出来上

だ。「国民総幸福 (GNH)」の基盤

は、彼らにほかには心配事は無い

作る。標高差があるのでその土地 の気候に合わせて麦・トウモロコ 米が主食なので、斜面に棚田を ティンプーに自動車道路が開通し 外国からの主要幹線路の必要性が であったため、 地形のため道路建設が極めて困難 低かったことと、 たのは1966年である。空港は インドから首都 山あり谷ありの

よってつくられた大きなU字谷で ある。ここには牧草地やジャガイ の谷は標高3300mで、氷河に 中部ブータンに近いポブジカ 建設できる平地が パローヵ所のみで、 ト機までである。

無いため、発着

長い滑走路を

人乗りのジェッ

るときはパロで4時間待たされ 降りてしまい7時間待たされ、帰 ダッカ(バングラ 受けやすい。行く ながらの離着陸で、 に囲まれているた 、ときは予定外の ディッシュ) に め、S字を描き しかも急峻な山 天候の影響を

Rental Open!

- インストラクターや講師として ご活躍の方
- 志木市本町5-19-15 お問合せ・お申込は

志木駅東口から徒歩約3分

E-mail: hara@camelianet.com またはお電話で:090-3048-5502

http://studio.camelianet.com/ 全面フローリングの快適空間

-クル活動で場所を探している方 友人同志で集まってヨガや英会話を 楽しみたい方

NPO「市民フォーラム」特定非営利活動法人

ニケーションの増進に努めます。共参加を推進します。また市民間のコミュ対活動を行ない、報道によって市民の公材活動を行ない、報道によって市民の公人は地域住民と行政に対して取

し、 無料 で 配

を

いる。ブータンの高齢者は金

が、衣食住

お寄せ下さい。 090 (3048) 5502

編集部原宛にどうぞ 팯

本紙「市民プレス」 は年四回 (一、四、七、 各五日) 発行。